

令和 2 年 9 月 23 日

獣医学・畜産学・応用動物科学同窓会
東京大学優駿会会員 各位

東京大学優駿会
会長 内藤邦彦

同窓会中止のお知らせ

暑さもおさまり、キャンパス内では虫の音も聞かれるようになってまいりました。今年は新型コロナウイルスにより社会全体に大きな影響が出ておりますが、皆様にはどのようにお過ごしでしょうか。外出の抑制が求められ、多くの時間を自宅で過ごされた方も多いことと拝察いたします。大学でも例年とは大きく異なる様相を呈しております。そこで、ご連絡かたがた、昨年度末から本年度の学内の状況につきまして簡単にご説明させていただきます。

昨年度は、獣医生理学の西原眞杉先生、応用免疫学の松本芳嗣先生、獣医病理学の中山裕之先生の 3 名の先生方がご退職されましたが、学校の一斉休講が要請される中、予定されていた最終講義や惜別会は全て中止となってしまう、大変残念で寂しく感じました。卒業証書や学位記授与式は対面で行われましたが、大教室で専攻長など数名の教員のみ出席が許され、指導教員から手渡すことはできませんでした。

4 月に入り緊急事態宣言により、動物の世話などやむを得ない場合を除き、教員は在宅勤務、学生は入構禁止となりました。新入生へのガイダンスはオンラインで行われ学生、教員ともに基本的に自宅からの参加でした。4 月末からオンラインで講義が開始されましたが、実習は実際に動物や機器に触れることはできず、オンラインで演習的なことを行うにとどまりましたので、学生には大変気の毒な状態でした。研究活動は 4 月からストップしていましたが、緊急事態宣言が解除された 6 月に入り、ようやく学生の必要最低限の入構が許可され、少しずつ動き出しております。ただし長時間学内にとどまることは不相当とされ、実験を済ませたらできるだけ早く帰宅するように指導されています。

9 月時点での現状ですが、教員、学生とも毎朝健康チェックを行い、ネットを通じて本部に報告し返信されてきた入構許可証をスマホ等で警備員に提示して学内に入ります。そのため守衛のいない門は現在も全て閉鎖されており、農学部で開いているのは正門のみです。講義は後期も全てオンラインで行うことが決定されました。実習は獣医学専修のみライセンス教育のため感染防止対策を十分とったうえで 6 月から対面実習が認められておりましたが、それ以外の専修は実習内容と感染対策状況を記した計画書を提出し、認められたもののみが後期から対面で行えるようになります。しかし、3 密を避けるため、人数を減らすなどの対策が必要で内容的には大幅に削減せざるを得ず、学生には大変申し訳なく思っております。

本年度は、大学院の入学試験や応用動物科学専攻が例年行っている修士の中間発表会もオ

オンラインでの開催となりました。対面での集会はスタッフ会議がその必要性を認めたもののみが許可されるという状況です。そこで、誠に残念ではございますが、本年度の同窓会は中止とさせていただきます。来年度の同窓会でまた多くの皆様でお会いできることを楽しみにさせていただきます。なにとぞご理解ご了承くださいませようお願い申し上げます。

末筆となりましたが、まだまだ新型コロナウイルスの危険性が高い状況が続いております。皆様におかれましては、くれぐれもお体にお気をつけて安全にお過ごしいただけますようお願い申し上げます。